

松建（建設）第113号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 殿

松島町長 大橋 健男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付けで通知のあったこのことについて別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

宮城県松島町

高規格幹線道路の整備が進んできている中、地域的なアクセス強化のための地域幹線道路の整備も重要と考えるが、生活環境に密着した市街地道路の安全・安心・快適な道路空間整備も必要である。

松島町では、観光中心地を国道45号が通過しており、交通渋滞が問題となっている。渋滞解消のためにはバイパスの建設が必要と考えるが、早期の実現は難しいと思われることから、有料道路を利用し大型貨物車両の通過軽減対策を検討している。対策では交通規制ではなく、通行料の無料化もしくは割引を行い、軽減を図りたいが、町での費用負担が生じてくることから、国庫補助の弾力的な運用を行っていただき、国費での対応を要望します。また、地域幹線道路・生活道路の整備についても進まない状況であるが、財源確保が厳しいことから地方道路整備臨時交付金の対象範囲拡大と交付率の引き上げを要望します。

このような地域の実情を考慮していただき、真意に必要な道路を整備するためにも、道路財源の確保に努めていただきたい。

○現状

松島の道路は、三陸縦貫自動車道・国道45号・国道346号や主要地方道仙台・松島線、奥松島・松島公園線の国県道があり流通・情報・生活において重要な役割を担っている。しかし、国道45号は松島海岸地区を中心に慢性的な交通渋滞が発生しており、大きな問題となっている。また、町内の生活道路については、地域幹線道路の整備が不十分であり、狭隘な道路が依然として残っていることから、緊急車両の通行や歩行者の安全確保に支障をきたしている。

道路の維持管理について、道路施設の老朽化が進んできていることから、橋梁等の長寿命化を図る修繕・更新が必要となってくる。

また、高い確率で発生するといわれている、宮城県沖地震の耐震対策も進めなければならない現状である。

○課題

松島海岸地区は、年間370万人訪れる松島の観光中心地であるが、国道45号は多くの車両が通過する状況にあり、大型貨物車両を中心とした通過車両の軽減対策が急務であるが、バイパス等の整備が困難であることから、三陸自動車道を利活用した軽減対策が必要である。

また、地域的なアクセス強化のための地域幹線道路の整備及び、生活環境に密着した市街地道路の安全・安心・快適な道路空間の整備を推進していくことも必要である。

道路施設の耐震化を含めた修繕・更新・改修は多大な費用を要するが、補助金制度には一定の基準があり、財源確保が困難である。

運転者、歩行者の安全確保や、特別名勝「松島」を松島町の資源として保存していくため、国道45号の渋滞緩和対策を促進する。また、各種道路とのネットワーク形成により、誰もが安全で安心して利用できる道路空間を創りあげてゆく。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

宮城県松島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性・利便性の向上	国道45号松島海岸地区通過車両軽減対策	観光中心地へのアクセス強化による観光客の増大、滞在時間の延長。 大型貨物車両軽減での騒音解消による日本三景松島のイメージアップ。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	歩道整備 狭隘道路の整備	安全・安心の歩行空間の確保、緊急車両走行不能箇所の解消。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	観光地周辺道路のバリアフリー化 学校、福祉施設、商店街等周辺道路のバリアフリー化	安全・安心歩行空間の確保。	
・良好な自然空間・自然環境の形成	道路緑化	快適歩道空間の確保 CO2 の削減	
・良好な景観の形成	観光中心地の無電柱化及び道路舗装等の高質化	自然景観・歴史的建造物の魅力が向上、観光客の増大。	